



満開のさくらまつり

第十二回さくらまつりが四月五日（土）有馬川緑道で開催されました。

今年は初めて桜の花が満開！例年、つぼみが固かったり、雪がちらつく寒い日もあり、なかなか桜の見頃の時期に行うことができなかったのですが、やっと実現しました。

いつも通り九時頃からテント張りや荷物の搬入、設営に多くのボランティアの方が手際よくテキパキと動いて下さり開店時間前には、すっかり整えることができました。

しかし、寒の戻りで気温は低く、多くの方に来

満開のさくらまつり

第十二回さくらまつりが四月五日（土）有馬川緑道で開催されました。

ていただけのか心配しました。が、十一時頃にはたくさんの人で賑わいました。

フリーマーケットの出店は例年より少なかったように思いますが、屋台は多数あり来場者の方には喜んで頂けたのではないかと思います。

分區の出店

分區の出店



北六甲台分區では昨年同様、喫茶、パスタ、おにぎりの販売とスーパーボールすくいをしました。

肌寒かったので温かい
コーヒーは重宝されまし
た。パスタもミートソー
スとカルボナーラの美味
しそうな香りに誘われ完
売でした。おにぎりも早
い時期に売り切れてしま
いました。



少々寒くても子どもたちは元気で、何度もうスパーボールすくいをしていました。カラフルで毎年新しい形のボールを準備しますが、一回終わったらあとに一つもらえるボールを選ぶのに、あれこれ

と悩む姿は真剣そのもの
です。ちなみに、今年は
金魚の形の物が一番人気
でした。

地域に根付いた行事

このさくらまつりは、東日本大震災の年には中止されました。その後、社協ブースでは東北特産品やパネルの展示をし、グッズの販売もしています。今年はメッセージを書いて届けようと多くの方が書かれました。

多くの団体が参加され、年々地域に根付いた行事になっていくと感じます。桜を愛でるだけでなく、多くのボランティアの人のパワーを感じます。

今年、参加されなかった方は、是非、来年一度のそいてみてください。お店やゲームを楽しむだけでなく、きっと懐かしい方にも会えるかもしれませんよ！（井澤 淳子）



寄稿



「お年寄りを大切に」という旧来からの思想に甘えている老人は、我が福寿会でも減ってきていると思うし、生き生きしている人は、老いても向上心を持っている。

この度、不肖ながら私が、連合福寿会の会長の大任を引き受けました。この機会に今一度、福寿会の在り方を考え直したいと思います。

心から福寿会の発展のを願う者として、私がまず考動（行動）ではありません（ません）致します。そしてリーダー

顔の見える福寿会に

連合福寿会 会長 片山 忠

は常に使い捨てられる運命である。自らに課するだけの覚悟を致します。

その上で、高齢者のライフスタイルの核として福寿会の存在価値をアピールしてゆきたい。そのためには、福寿会全員の協力と、各団体との連携プレーは欠かせません。社協さんに対しては、この街を愛する「こころざし」は一緒のはずですから、情報交換をしながら「良い街づくり」にお互い切磋琢磨しながら歩ませていただきますと存じますので、よろしくお願い致します。



北六甲台4丁目 坊ヶ家 佑都くん
(3ヵ月) ぼうがうち ゆうと

こんにちは 赤ちゃん！

きゅっと握った小さな手を動かしてご機嫌な佑都くん。穏やかな表情で見つめてくれました。

「かわいがって欲しいと思って……」と、名前は4歳のお兄ちゃんに決めてもらったとのこと。抱っこしたり、ベビーカーを押したりと、お兄ちゃんも上手にお世話をしてくれるそうです。

「主人も子育てに協力的で助かっていきます。」



二人目は心の余裕が出てきて、ゆったりと子育てを楽しんでいます」とお母さん。

おじいちゃん、おばあちゃんもお近くにお住まいで、お喜びとのこと。

家族みんなの愛情に包まれて、スクスクと成長されています。

ボランティア募集！

募集内容

北六甲台ボランティアセンターでは、以下の活動をお願いできるボランティアさんを募集しています。

- カーボランティア**（車ででの送り迎え）
■施設ボランティア（近隣の福祉施設等のお手伝い）
■日常生活サポートボランティア



(食事サポート、庭木の
水まき、ゴミ出し等の日
常生活のお手伝い)



お問い合わせ（北六甲台ボランティアセンター）

開設日：毎週火曜日と木曜日
時 間：午前9時～12時
(上記時間以外は留守電・FAXが可能です)
場 所：北六甲台安心プラザ2階
西宮市北六甲台3丁目31番1号
電 話：078-904-4576

ボランティアの応募やお問い合わせは、上記のボランティアセンターにお気軽にご連絡下さい！

恒例の管外バス研修

総勢三十四人のお伊勢参り

研修部 栖川真子

吹雪のおもてなし

ぐつと冷え込んだ三月十日(月)社会福祉協議会の管外研修に参加しました。八時にコミセンを出発した一行三十四人は、春を求めて伊勢神宮に向かいましたが、滋賀県と三



重県を隔てる鈴鹿トンネル付近で思いがけない吹雪の「お・も・て・な・し」の歓迎に遭遇しました。「春は名のみの・・・」の『早春賦』のフレーズが思わず口から飛び出すような風景でした。昨年、式年遷宮で話題になった伊勢神宮です。人も落ち着いた頃かな?と思いきや、平日の月曜日ながら、たくさんの方の参拝客に驚かされました。

外宮参拝

まず外宮参拝です。ガイドさんの丁寧な説明に、興味深く耳を傾け、正式参拝の作法をあらためて学びました。こんなに深くお辞儀をしたことがあつたかしらと、普段の自分と

振舞いを省みる機会が持てたと感謝した次第です。



内宮参拝



神宮会館での昼食を挟んで、内宮参拝です。二十一年一度の式年遷宮で、まだ木の香りが漂う神様の新しい住まいの正殿を前にして、厳粛な気持ちになったのは私だけではないでしょう。この



3～4月の事業報告

月/日	曜	事業内容	参加者
3/10	月	福祉講座(管外研修)	34
12	水	美作市社協来訪・交流	19
12	水	ふれあい喫茶・北六甲台	82
19	水	ふれあい喫茶・上山口東	34
28	金	ともだちつくろう	16
3月度		青い空(障害者・児支援)	延20
3月度		カーボランティア(17回)	7
4/5	月	さくらまつりボランティア	
9	水	ふれあい喫茶・北六甲台	
16	水	ふれあい喫茶・上山口東	
25	水	ともだちつくろう	
4月度	月	青い空(障害者・児支援)	
4月度	水	カーボランティア(回)	

深く感謝いたします。



岡山県・美作市社協の来訪と交流

ボランティアセンターの役割に質問集中

広報部 日高 昭夫

十九人のお客様来訪

三月十二日の午前中、市社協の仲介で岡山県美作市の社会福祉協議会のメンバーが来訪され、北六甲台分区と交流しました。



われしました。美作市社協は、高齢化の著しい農村部の社協です。ボランティアセンターの設置やカーボランティアへの関心が強く、これに関連した質問が相次ぎました。安心キットは既に救急キットの名称で二年前に導入済みであり、独り暮らしのお年寄りは一〇〇円、それ以外の方は二〇〇円を負担してもらっているとのことでした。

ボラセン見学

場所を安心プラザに移して、ボランティアセンターの実際の様子を見てもらいました。ボランティアセンター責任者の説明にここでも質問が相次ぎました。特にカーボランティアについての質問が集中しました。「要望の受け方とサービス提供の仕方は?」「距離制限は

市社協と分区の活動報告

市社協の高田地区担当の司会で九時五十分には交流会が始まりました。市社協スタッフから西宮市社協の地域福祉活動が説明されました。活動の概要をコンパクトにまとめ

活発な質問

その後、質疑応答が行

ないのか」「ボランティアの指名は可能か?」「交通傷害保険はどうなっているか」「実費負担分の請求、集金の方法は?」「専門業者とのバッテリーは?」等々。



ふれあい喫茶でのくつろぎ



再びコミセン前の自治会館に移動しました。ちょうど月一回のふれあい喫茶の開催日です。スタッフにお願いして通常の開店時間を繰り上げて来訪の皆さんをお迎えしてもらい

ました。折しもホワイトデーのイベントも行われており、美作のご婦人方にもホワイトデープレゼントが配られました。コーヒー紅茶とお菓子の接待で寛いでもらうというふれあい喫茶のおもてなしを味わってもらいました。最後に、美作市社協の代表者からお礼の挨拶がありました。

十二時過ぎに全てのス



ケジュールが終了し、美作市社協の皆さんを乗せたマイクローバスが自治会館前を後にしました。大勢の訪問者を迎えて、相互に貴重な意見交換を交えながら、無事終了しました。